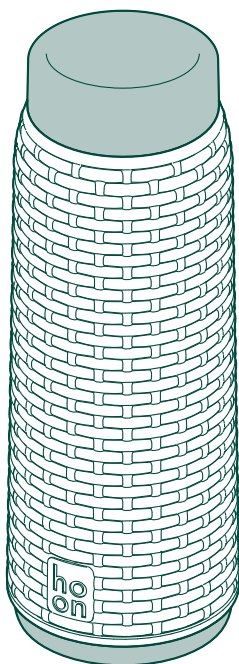


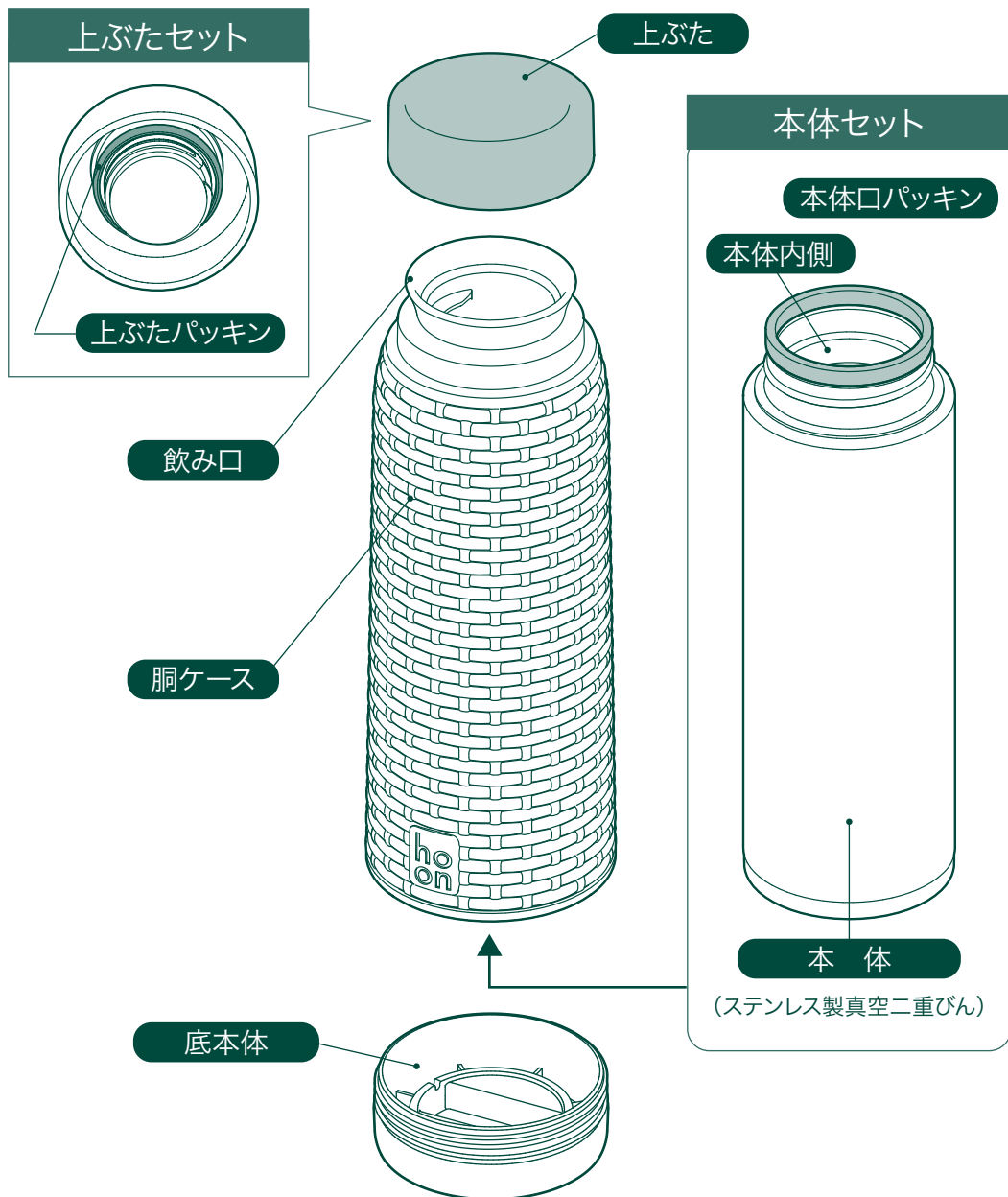
取扱説明書

このたびは、オルゴ ステンレスボトル【ラタンボトル】をお買い上げいただきありがとうございます。
この製品を正しくお使いいただくために、ご使用にあたっては必ず取扱説明書をお読みください。お読みいただいたあとは大切に保管して、ご使用上で分からない点や不具合な点が生じた場合はお確かめください。

※ご使用前に、必ず各部品が揃っている事をご確認ください。



各部の名称



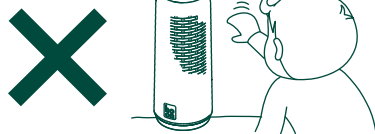
※本体の図はMBR-30のもので、品番により、多少外観が異なる場合があります。

※品質向上・改良のため、予告なく機構、デザイン等を変更することがありますので、ご了承ください。

必ずお守りください。

- この製品は、飲料物を入れての保温・保冷を目的としたものです。
- 漏れやあふれは、他のものを汚す原因となります。
- ご使用になるときは、飲料物の変質・変色、製品の故障や汚れを防ぐために、下記の事は必ずお守りください。

- 乳幼児の手の届く所には置かない。いたずらには充分注意する。
けがの原因となります。



- 熱い飲料物を入れた場合は、ゆっくりと傾け注意して飲む。
やけどの恐れがあり危険です。



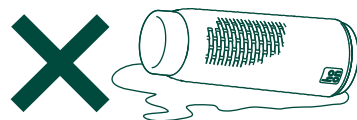
- 電子レンジで加熱したり、冷蔵庫・冷凍庫で冷やしたりしない。また、ストーブやコンロなどの火のそばに近づけない。
レンジ内での発火・故障の原因となり危険です。また、漏れや変形・破損の原因となります。



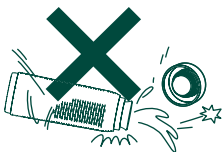
- 熱いものを入れる場合には、本体や飲み口にやかんなどが当たらないよう注意する。
飲料物があふれて他の物を汚したり、転倒してやけどをする原因となります。



- 製品を横置きにしたまま放置しない。
漏れる恐れがあります。

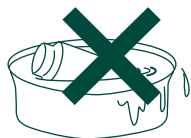


- 飲料物を入れたときは、横転させない。また倒したり落したりぶつかけたり、強い振動(特に上下の振動)や衝撃を加えない。
変形して保温・保冷効力が損なわれたり、飲料物が出て他のものを汚したり、破損する原因となります。



- つけ置き洗い(水中に放置)は絶対にしない。
水が侵入し、サビが発生することにより、保温・保冷効力が損なわれたり、印刷・塗装のがれ、他のものを汚す原因となります。

※組み立てた状態での丸洗いはしない。
底から胴ケース内部に水が侵入し使用中に漏れ出します。



- バッグなどに入れる時は、本体を縦にする。また、パソコン・携帯電話などの精密機器と一緒に持ち運ばない。
飲料物が漏れた場合、バッグ内を汚したり、精密機器の故障の原因となります。



- 次のものは絶対に入れない。

■ドライアイス・炭酸飲料や牛乳・乳飲料・果汁など腐敗しやすいもの

成分に含まれる炭酸ガスや、腐敗により発生したガスにより、内圧が上がって飲料物が吹き出したり、上ぶたなどが破損する恐れがあります。

■みそ汁・スープなど塩分を多く含んだもの

本体内側にはステンレス鋼を使用していますが、長時間放置したり、成分が付着したままになっているとサビが発生し、保温・保冷効力が損なわれる恐れがあります。

■果肉・お茶の葉

詰まったり、漏れの原因となります。

- 自動車や自転車運転中は使用しない。

自動車用の缶ホルダーに置く場合は、取り付け強度及び本体がホルダーに安定して収まる事を確認する。市販の缶ホルダーを使用する場合は、据え置き型を使用する。また、飲料物が漏れたりしないよう上ぶたを確実に閉める。

事故ややけどの原因となり非常に危険です。また、車内や他のものを汚す原因となります。つり下げ型の缶ホルダーを使用すると外れる恐れがあります。

- 使用後は上ぶた・本体内側をよく洗う。また、飲料物を入れたまま長時間放置しない。

腐敗によりガスが発生して内圧が上がって、飲料物が吹き出したり破損したりする恐れがあります。

- 熱い飲料物を入れた場合は、振らない。

内圧が上がって、勢いよく上ぶたが開いたりして、飲料物が飛び散る恐れがあります。

- 飲料物の量は飲み口より約3cm下で止める。

入れすぎると上ぶたを閉めたときに飲料物があふれる恐れがあります。

- ご使用の際は、各パッキンが正確に取り付けられている事を確かめ、上ぶたを確実に閉める。

パッキンを取り付けていなかったり、上ぶたの閉め方がゆるいと漏れの原因となります。

- ご使用の際は、底本体がゆるみなくしっかりと閉められていることを確認する。

- 飲み終わったら放置せずに上ぶたを閉める。

転倒等により漏れややけどの原因となります。

- 飲料物の保温・保冷以外の用途に使わない。

- 熱湯での洗浄や煮沸洗浄、食器洗浄機や食器乾燥機の使用はしない。

熱により部品が変形し、漏れ等故障の原因となります。

- シンナー・ベンジン・化学ぞうきん・みがき粉・たわし・クレンザーなど、台所用中性洗剤以外の洗剤や塩素系漂白剤などは使用しない。

キズがついたり、破損の原因となります。

- お客様での分解修理は絶対にしない。

事故や故障の原因となります。

- 上ぶたを持って移動しない。

本体から外れて落下するなど危険です。

- 飲料物が入ったままの状態での分解しない。

使用上のご注意とお願い

- 使用前や持ち運ぶ前は、本体を上下逆さまにして、漏れがないか確かめてください。

バッグ等に入れる場合は本体を縦にして、念の為ビニール袋等に入れていただくことをおすすめします。

- 氷を入れるときは、先に飲料物を入れた後、静かに入れてください。また、氷が大きくて入らない場合は、あらかじめ小さく砕いてください。

- 上ぶたを閉めるとき、飲み口に飲料物が残っている場合は拭き取ってください。

漏れる恐れがあります。

- 熱いお茶を長時間保温すると、色や風味が変わります。お出かけの際は、ティーバッグのご使用をおすすめします。ティーバッグを入れたまま上ぶたを取り付けしないでください。

- お手入れのため分解した場合は、本体及び胴ケースに付着した水分をきれいに拭き取り「お手入れの方法2」に従って、確実に組み立ててください。

組み立てが不十分な場合は漏れの原因となります。

正しい使い方

● 初めて使うとき。

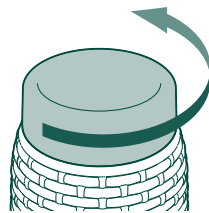
各パッキンが確実に付いていることを確認する。
飲料物を入れる前に、お手入れの方法に従って洗浄してください。

① 本体から上ぶたを外す。

・ 本体を持ち、上ぶたを矢印の方向へ回して外す。

[注意]

飲料物が入っているときは、本体を傾けないよう飲み口を上に向けた状態で外してください。

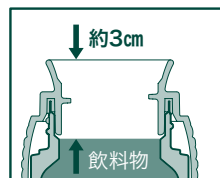


② 飲料物を入れる。

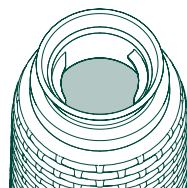
・ 飲料物の量は、図のように飲み口より約 3 cm 下で止める。

[注意]

・ 入れすぎると、上ぶたを付けたときにあふれる事があります。
・ 飲料物が入っているときは、底本体を絶対にゆるめたり外したりしないでください。飲料物が漏れたり本体が脱落して危険です。



飲料物を入れる前にあらかじめ少量の熱湯(保温の場合)または冷水(保冷の場合)を入れ、約1分ほど予熱・予冷しておくことより効果的です。

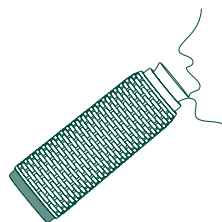


③ 飲料物を飲む。

・ 飲み口に口を付け、本体をゆっくり傾けて飲む。

[注意]

本体を急に傾けると、飲料物が勢いよく飛び出してやけどや他のものを汚す原因となりますのでご注意ください。

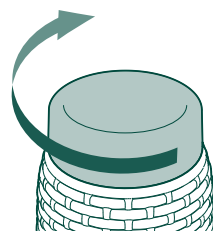


④ 飲み終わったら、上ぶたを閉める。

・ 胴ケースを持ち、上ぶたを矢印の方向へ回して閉める。

[注意]

上ぶたの回転が止まるまでしっかりと回して閉めてください。
また、閉めた後は本体を傾けて漏れないことを確認してください。

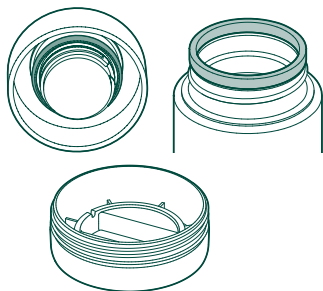


お手入れの方法 1

お手入れの際は、必ず分解してお手入れしてください。

- 残った飲料物を捨て、毎日簡単なお手入れをしていただくことが、いつまでも清潔にご愛用いただくコツです。
- お手入れをおこたったり、飲料物を長時間入れたままにしておきますと、汚れが落ちにくくなります。
- 食器洗浄機・食器乾燥機などの使用はしないでください。変形や、漏れの原因になります。
- シンナー、ベンジン、化学ぞうきん、みがき粉、たわし、クレンザーなど、台所用中性洗剤以外の洗剤や塩素系漂白剤は使用しないでください。キズがついたり、変形・変色、破損の原因になります。
- スポンジや布は柔らかいものを使用してください。
- お茶、又は糖分や塩分を含んだものを入れた後は、充分にお手入れをしてください。

上ぶた・底本体・本体セット/パッキン



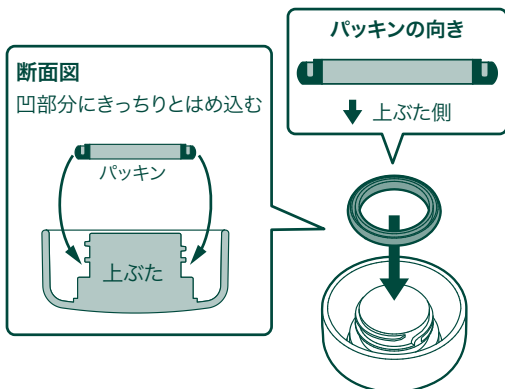
- ①お手入れの際は、上ぶた・本体セットに取り付けられている各パッキンを外してお手入れしてください。パッキンを傷つけないようご注意ください。
- ②お湯でうすめた台所用中性洗剤をスポンジに含ませ、ていねいに洗ったあと、流水でよくすすぎ、上ぶた・底本体・本体セットをよく振り水分を拭き取って充分に乾燥させてください。
- ③お手入れの後は、各パッキンを正しく取り付けてください。
 - ・つけ置き洗い(水中に放置)はしないでください。
 - ・本体セットを組み立てる際は、底本体が止まるころまでしっかりと回して閉めてください。閉め足りないと漏れの原因になります。

パッキン(ゴム製部品)について

この製品には2種類のパッキン(ゴム製部品)が取り付けられています。お手入れの際は、下記手順に従って、各パッキンを正しく付け外してください。パッキンが正しく取り付けられていないと、漏れなどの原因になります。また、お茶・コーヒー等の濃い色の飲料物を入れると、パッキンは着色します。汚れが目立ってきたら交換をおすすめします。

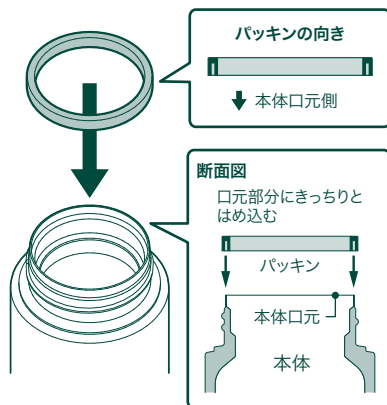
上ぶたパッキンの取り付け方

上ぶたの凹部分にぴったりとはめ込みます。



本体口パッキンの取り付け方

パッキンの向きが正しい事を確認し、上ぶたの凹部分にぴったりとはめ込みます。

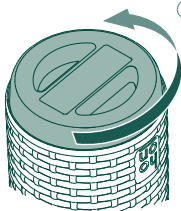


お手入れの方法 2

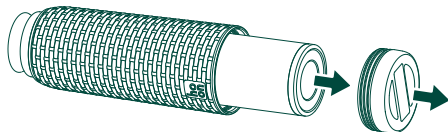
本体セット・底本体の分解方法

- ① 飲料物が入っていないことを確認してから、底本体を上向きにして底本体を矢印の方向へ回して外してください。

底本体が下向きの状態で外すと胴ケースから本体セットが脱落して危険です。



- ② 胴ケースから本体セットを引き出します。本体口パッキンが胴ケース内部に残った場合は水道の流水を当てて浮かせ、パッキンを紛失しないように丁寧に取り出してください。



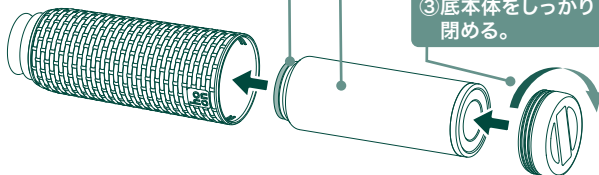
本体セット・底本体の組み立て方

- ① 胴ケース・本体に付着した水分をきれいに拭き取り、本体に本体口パッキンを正しく取り付けます。
- ② 本体を胴ケースにまっすぐ差し込む。
- ③ 底本体をしっかり閉める。
組み立て後は、底本体が斜めに閉まっていないか確認し、本体を振ってカタカタと音がしないことを確認してください。
- ④ 本体に飲み口より約3cm下の所まで水を入れ上ぶたを閉め、逆さま及び横向きにして漏れないことを確認してください。

- ① 本体に本体口パッキンを取り付ける。

- ② 本体を胴ケースにまっすぐ差し込む。

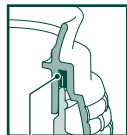
- ③ 底本体をしっかり閉める。



組み立て時の注意事項

底本体を閉め付けることで、本体口パッキンが胴ケース内部の溝に押し込まれ、飲料物が本体口パッキンから胴ケースの内部に侵入することを防いでいます。

拡大図

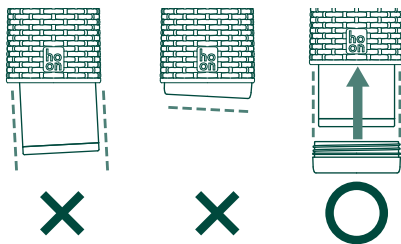


本体口パッキン

底本体

断面図

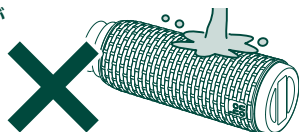
本体が斜めに入った状態で底本体を閉めたり、底本体の閉め付けが弱いと、漏れの原因になります。また、飲料物が入った状態で底本体をゆるめないでください。



お手入れ時の注意

組み立てた状態のまま丸洗いしないでください。底から胴ケース内部に水が浸入し、ご使用時に漏れ出す恐れがあります。

内部に水が浸入する。



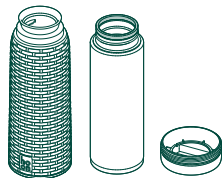
※上ぶた・各パッキンは消耗品です。1年をめやすにご確認ください。

消耗のある場合は、品番・パーツ名・色柄をご確認の上、お買い上げの販売店又は当社のお客様窓口までご連絡いただくか、当社ホームページのお客様サポート(消耗品パーツの購入)よりお買い求めください。

お手入れの方法 3

本 体/胴ケース/底本体

- ・ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤をスポンジに含ませ、ていねいに洗ったあと、流水でよくすすぎ、水分を拭き取って十分に乾燥させてください。つけ置き洗い(水中に放置)はしないでください。



本体にはステンレス鋼を使用していますが、水質や不純物などにより「サビのような赤い斑点」や「ザラザラしたもの」、「汚れ」が付着する場合があります。

このような場合は、市販のクエン酸(約5g)をぬるま湯でうすめて入れ、約1~2時間放置した後柔らかいブラシなどできれいに洗い、水で十分にすすいでください。

こんなときは…

長期間使用しないとき	・ 上ぶた・底本体・本体セットの汚れを落とし、乾いた布で拭き、自然乾燥させてください。
飲み口や底本体から飲料物が漏れる	・ 各パッキンの取付方向や位置、浮きが無いか確認してください。 ・ 飲み口や各パッキンが汚れていないか確認してください。 ・ 飲料物を入れすぎているか確認してください。 ・ 底本体のゆるみがないか確認してください。
本体や飲み口などからにおいがする	・ 本体内側や飲み口に汚れが付着していないか確認してください。
保温・保冷がきかない	・ 十分に熱い(冷たい)飲料物を入れているか確認してください。 本体内側の予熱(予冷)をすると効果的です。 ・ 飲料物の量が少なくないか確認してください。 飲料物の量が少ないと、保温・保冷効力が弱くなります。
緑茶などが赤茶色に変色した	・ お早めにお飲みください。お茶を保温すると、お茶の成分が変化して色が変わることがありますが、人体に害はありません。

お問い合わせ先

お問い合わせ品番

MBR型

品質には万全を期しておりますが、万一不具合な点、その他故障などがございましたら、使用を中止してお求めの販売店が当社お客様窓口までお問い合わせください。お問い合わせの際は、必ず底部に記載されている品番をお確かめください。

お客様窓口

TEL : 06-6961-5885 FAX : 06-6969-6692

受付時間 : 9 : 00 ~ 17 : 00 (土・日・祝日・年末年始等を除く)

ホームページからもお問い合わせいただけます。☞ <http://www.allgo.co.jp>

オルゴ株式会社

本社 〒538-0044 大阪市鶴見区放出東1-4-2